

# 金沢区勢概要

区制十周年記念

1958年

金沢区役所

## 区制施行10周年を迎え

### 区勢概要発刊のことば



金沢区は昭和11年10月1日に旧久良岐郡金沢町、六浦荘村が、横浜市磯子区に合併し、さらに昭和23年5月15日磯子区から独立して区制が施行され、歳月はたゆみなく流れて、早くも区制施行10周年を迎えるに到りました。

かえりみれば古い歴史の中に成長してきた金沢が、時代の進運とともに今日の発展をみた姿は誠に感慨深いものがあります。

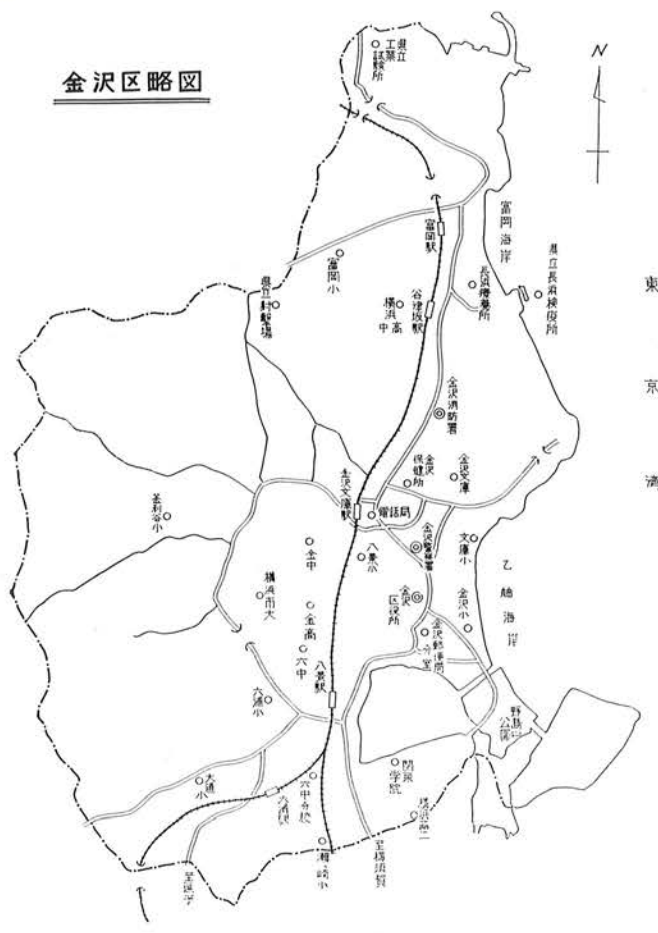
区制施行以来今日までの過程は未来への第一歩であって、私たちが胸に画く理想の建設にはまだ遠いのでありますが、山積された諸問題を区民の皆様の御協力により一つ一つ解決してよりよき金沢の地を築きたいものと念願しています。本年は横浜開港百年の記念すべき年でもあり、当金沢区にとっても区制10周年を迎え過去を讃え将来の理想実現への礎石とする記念の年であると考えられます。幸いこの記念すべき日に区の広域に亘ってガスの引込が実現する運びとなったのは誠に喜びに堪えない次第であります。このような目出度い10周年を記念して区制概要を発行した次第でありまして、もとより全貌を集録し得ませんが本書が皆様の区勢を知るための一助となり、将来の構想へいくぶんなりとも寄与することができれば誠に幸いと存じます。

ここに区民の皆様とともにかがやかしい当区の将来を祝福して発刊のことばといたします。

昭和33年5月15日

横浜市金沢区長 新井助太郎

# 金沢区略図



位置および面積		
位置		
東 径		139'38
北 緯		35'22
面積		22,84平方杆
広ぼう		
東 西		5.257杆
南 北		7.729杆

## ☆ 目 次 ☆

沿	革	1
総	説	3
行	政	6
人	口	9
産	業	14
商	業	19
農	業	21
漁	業	23
教	育	24
民	生	28
選	挙	30
市	税	31
保	健 衛 生	32
交	通	34
治	信	36
消	安	37
団	防	39
視	体	41
	光	42

## 沿 革

この金沢の地は3,000年乃至4,000年以前からすでに人が住んでいて、当時の生活様式を物語る縄文文化時代の土器や各種石器、獣骨等があまた発見されている。

平安時代には武蔵国久良または、久良岐郡鮎浦などようやく書物にもあらわれてきた程度であったが、その記録が明確になったのは建久3年(1,192年)頼朝が鎌倉に幕府をひらいた前後からで、頼朝は先に寿永元年(1,182年)熊谷直実を武蔵国の地領として管理させたが、まだその当時は武蔵国海月郡または直接武蔵国六連などと呼ばれ、その後六浦荘、そして正嘉2年(1,258年)倉城郡六連荘内「金沢村」とようやく記録に残るようになった。この地は幕府の実権者北条一門の領地として重要視され、代々統治された。すなわち仁治2年(1,241年)今の朝比奈街道が開さくされ、対岸の房総などの輸送の一基点として、湊が利用され、塩田も拓かれ釜利谷に鍛冶工が起ったといわれたのも、けだし幕府の直接需要に応ずるためであったのであろう。

北条実時は父について、この地の領主となり文永5年(1,268年)邸内に建立した称名寺に名僧を迎え、建治元年(1,275年)頃金沢文庫を建て、和漢の貴書を多くここに蔵し、当時の文教の地としてその名を知らしめた。またこの時代の初期には將軍頼朝が北条一族と共に遊船、その景を賞するなど観光の地としても世に認められ、その名は京の人々にも知られト部兼好(徒然草の著者)などの来遊もあり第一次の金沢観光時代ともいえるようになった。

文政10年(1,827年)頃の金沢は青戸(当時杉田村の一部)富岡、谷津、泥亀新田、寺前、柴(小柴とも称す)町屋、洲崎(当時は野島村を含む)、社家分、寺分、平分、宿、坂本赤井、峠(今の朝比奈当時は相模国鎌倉郡に含まる)の15カ村に分れていた。

この間徳川の天下も泰平となり元禄(1,688年)文化、文政(1,804~1,829年)の文化興隆期にはこの地に文人、墨客の来遊するもの多く、金沢八景の名は世に喧伝され、わけても安藤広重の風景画は版画となり今日なお世界的に賞讃され金沢第二の観光時代を迎えるにいたった。

明治2年(1,869年)6月全国の諸藩版籍を奉還し明治4年(1,871年)7月廃藩置県の公布により一時米倉丹後守の領地であった六浦藩はそのまま六浦県となり、柴村は一時垂山県に属したが同年11月全て神奈川県に管轄となった。

明治8年(1,875年)には六浦の社家分、寺分および平分の三村よりなる三分村が赤井、宿、および坂本の三村を併合して釜利谷村と称し連合するなどあって、明治22年4月(1,889年)町村分合改称令により富岡、柴、谷津、泥亀新田、寺前、町屋、洲崎および野島の8カ村は併合し金沢村となり三分村および釜利谷村も併合し六浦荘村となり同時に峠村は再び分れて東鎌倉村に合併した。しかしその後明治30年5月(1,897年)峠村は六浦荘村に併合された。

明治時代に入っては国内も安定したので東京並びに横浜から顯官、富豪、外人など風流者の来遊乃至

滞在するもの多く富岡海岸には夏期に海水浴場が開設され料亭、旅館の開業するものもある外、この地に別荘を構える者相つき伊藤博文が東屋旅館（洲崎）に滞留し、夏島で明治憲法草案の起草が行われるなど正に第三次観光金沢時代が出現することになった。

この外当地では横浜の外人に供給する草花、玉葱、トマトなど西洋野菜の栽培が始まりまた蓮根の水田栽培、内湾の海苔養殖等もこれらの機運によって行われてきた。

しかし一面多年行われていた製塩業は明治41年（1,910年）専売法が施行されたのでその後廃せられるに至った。

明治32年（1,899年）要塞地帯法が制定されこの地にも適用され諸般の取締りがきびしくなり行動の自由が束縛されるにおよんで、来遊者滞在者其次第に減少し大正12年（1,923年）関東大震災による被害も少なからずこの間土地の繁栄は一頓挫を來たした。

昭和5年（1,930年）湘南電気鉄道（現在の京浜急行）が開通し翌6年には満州事変が勃発し横須賀を中心に軍需工業が発展するに伴い、来住者も増し、昭和11年（1,936年）には久良岐郡を廃し金沢町、六浦莊村は横浜市磯子区に編入され上水道が敷設されて一層来住者が加わり、以後10有余年を経て昭和23年5月15日区多年の宿望が叶って金沢区が独立し満10年を迎え現在に至ったがその間四圍の好環境と立地条件に恵まれ、住宅地区、文教地区、観光地区として大いに区将来の発展が期待されている。

区 政 の あ ゆ み

昭和 23 年	5 月 15 日	金沢出張所が磯子区より独立して金沢区が誕生した。
"	7 月 18 日	柴漁港築造完成祝賀式
"	8 月 1 日	常住人口調査が実施され人口は 51,765 人であった。
"	10 月 5 日	県、市教育委員会委員選挙が執行された。
"	10 月 27 日	金沢中学校落成式
"	11 月 20 日	庁舎増築落成祝賀式
"	11 月 30 日	農業調整委員会委員選挙が執行された。
"	12 月 10 日	金沢警部補派出所落成式
昭和 24 年	1 月 20 日	区に弘報委員会が結成された。
"	1 月 23 日	衆議院議員選挙及最高裁国民審査投票が執行された。
"	2 月 1 日	市営バスが横浜駅六浦間に開通した。
"	6 月 1 日	横浜市大商学部が海軍技術敵あとに開学
"	8 月 1 日	金沢さくら保育園開園さる
"	8 月 18 日	農地委員会委員選挙が執行された。
"	10 月 14 日	柴駐在所開所式
"	10 月 18 日	金沢文庫駅前巡査派出所開所
"	12 月 1 日	南税務署新築庁舎祝賀式
昭和 25 年	3 月 12 日	三艘道路開通式
"	4 月 2 日	横浜駅伝のため高松宮殿下金沢区役所に御台臨
"	5 月 4 日	生活保護法が公布された。
"	6 月 4 日	参議院議員選挙が執行された。
"	6 月 30 日	金沢保健所開所式
"	7 月 15 日	南川小公園開園式
"	8 月 1 日	民生安定所が区より独立新発足す。
"	8 月 15 日	漁業調整委員会委員選挙が執行された。
"	9 月 20 日	横浜国際港都建設法賛否投票が行われた。
"	10 月 1 日	第七回国勢調査が実施され人口は 56,040 人であった。
"	11 月 10 日	横浜市教育委員会委員選挙が執行された。
"	11 月 19 日	神奈川県新八景選定に金沢八景は第八位に入賞
昭和 26 年	2 月 11 日	伊藤博文公憲法顕彰記念碑除幕式（再建せるもの）於夏島
"	3 月 16 日	平潟橋落成式
"	3 月 23 日	県工業試験所開所式
"	3 月 29 日	金沢工事々務所開所式
"	4 月 15 日	大道西児童公園開園式
"	4 月 23 日	市長、市会議員の選挙が執行された。
"	4 月 30 日	知事、県会議員の選挙が執行された。
"	5 月 22 日	釜利谷バス乗入開通式
"	7 月 10 日	みなと祭、移動演芸、素人演芸会、提灯行列、花火大会等第一部観光まつり開催

昭和 26 年	7 月 27 日	第二部観光まつり、観光ポスター展、万国切手展覧会開催
“	9 月 10 日	芹沢勇氏金沢区長となり渡辺金沢区長は西区へ
“	10 月 6 日	柴隧道補修工事開通式
“	10 月 7 日	称名寺赤門移築落成式
“	11 月 28 日	八景小学校開校式
“	12 月 10 日	南川橋落成式
“	12 月 12 日	金沢高等学校々舎落成式
昭和 27 年	1 月 3 日	夕照橋開通式
“	1 月 5 日	午前 1 時 50 分関東学院大学職員寮図書室全焼
“	2 月 2 日	三艘道路開通式
“	3 月 5 日	文庫小学校落成式
“	4 月 16 日	国連金沢分会結成大会於公民館
“	4 月 21 日	遺族援護法制定さる
“	5 月 3 日	金沢風景絵画展開催
“	6 月 1 日	麦類の統制が廃止され配給制度は米のみとなった。
“	6 月 20 日	富岡学園落成式
“	7 月 1 日	住民登録法が施行され登録人口 59,571 人であった。
“	7 月 2 日	三艘新川橋落成式
“	7 月 29 日	農業委員会委員選挙が執行された。
“	8 月 16 日	金沢海の祭典納涼花火大会
“	10 月 1 日	衆議院議員選挙及び最高裁国民審査投票が執行された。
“	10 月 1 日	金沢消防署として磯子消防署より独立
“	10 月 5 日	県市教育委員選挙が執行された。
“	“	金沢警部派出所が磯子警察より独立し金沢警察署となる。
“	11 月 30 日	地区事務所が廃止された。
昭和 28 年	1 月 24 日	永堀豊氏金沢区長となり芹沢金沢区長は鶴見区へ
“	4 月 19 日	衆議院議員選挙が執行された。
“	4 月 24 日	参議院議員選挙が執行された。
“	5 月 15 日	金沢区独立 5 周年記念祝典が金沢小学校で挙行された。
“	7 月 17 日	野島山臨海綜合公園要望書を市長、市会議長、建設委員会に提出した。
“	7 月 26 日	NHK のど自慢素人演奏会を区政 5 周年記念行事として全国放送
“	8 月 1 日	金沢区独立 5 周年記念恒例金沢海の祭典納涼花火大会開催
“	9 月 15 日	金沢区独立 5 周年記念写真コンクール展覧会開催
“	12 月 11 日	金沢文庫すゞらん通りアーケード開通式
昭和 29 年	2 月 24 日	三艘火災 14 世帯 5 棟全焼 2 棟半焼
“	4 月 1 日	野島山植樹式
“	6 月 1 日	金沢青果集荷場開場式
“	6 月 29 日	野島山防空ごう接収反対陳情
“	7 月 18 日	農業委員会委員選挙が執行された。
“	8 月 10 日	野島山防空ごう接収問題無事解決

昭和 29 年	8 月 12 日	漁業調整委員会委員選挙が執行された。
"	8 月 15 日	恒例金沢海の祭典海上カーニバル
"	9 月 4 日	高谷子供遊園地完成
"	10 月 20 日	県立工業試験所披露式
"	11 月 2 日	金沢レストハウス開所式
"	12 月 1 日	県立長浜療養所開所式
昭和 30 年	2 月 27 日	衆議院議員選挙が執行された。
"	4 月 23 日	市長、市議、知事、県会議員選挙が執行された。
"	7 月 1 日	横浜市警が国警々察として発足
"	7 月 16 日	六浦国道開通式
"	8 月 15 日	金沢消防署庁舎落成式
"	8 月 16 日	海の祭典金沢海上カーニバル
"	10 月 1 日	第八回国勢調査が実施され人口は 63,974人であった。
"	10 月 31 日	国体富岡射撃場開会式三笠宮、高松宮各妃殿下御台臨
"	11 月 2 日	国体富岡射撃場へ天皇、皇后両陛下下行幸啓
"	11 月 5 日	谷津消防道路開通式
"	11 月 28 日	赤井谷道路完成
昭和 31 年	1 月 18 日	六浦中学校第二分校開校式
"	4 月 18 日	釜利谷耕地整理組合竣工式
"	5 月 30 日	六浦日用品市場新星マーケット全焼
"	6 月 23 日	野島橋落成式
"	7 月 8 日	参議院議員選挙が執行された。
"	7 月 18 日	釜利谷小学校プール開き
"	7 月 24 日	六浦町川道路完成式
"	8 月 12 日	海の祭典金沢カーニバル
"	9 月 3 日	平潟下水ポンプ場落成
"	9 月 20 日	朝比奈線バス開通式
"	9 月 24 日	金沢電話局分局開局披露式
"	10 月 28 日	金沢文庫称名寺開基北条実時公 680 年祭
昭和 32 年	2 月 9 日	御仲井消防道路完成式
"	6 月 15 日	平潟児童遊園地開園式
"	6 月 22 日	九覧亭太子堂落成式
"	7 月 17 日	農業委員会委員選挙が執行された。
"	8 月 11 日	海の祭典金沢カーニバル
"	8 月 12 日	金沢中央商店街の街灯が完成した。
"	8 月 19 日	富岡恵風母子寮落成式
"	10 月 7 日	新井助太郎氏金沢区長となり永福区長は西区へ
"	10 月 13 日	称名寺庫裏新築落成式
"	10 月 20 日	区民レクリエーション大会於金沢中学校
昭和 33 年	5 月 11 日	N.H.K ラジオ体操およびのど自慢が金沢小学校および六浦小学校より全国放送された。
"	5 月 15 日	金沢区制十周年記念祝典を金沢小学校講堂において挙行





金 沢 区 役 所 庁 舎

### 歴 代 区 長

順 位	区 長 名	就 任 年 月 日	退 職 年 月 日
1	渡 辺 義 雄	昭 和 23 年 5 月 15 日	昭 和 26 年 9 月 10 日
2	芹 沢 勇	“ 25 年 9 月 10 日	“ 28 年 1 月 24 日
3	永 堀 豊	“ 28 年 1 月 24 日	“ 32 年 10 月 7 日
4	新 井 助 太 郎	“ 32 年 10 月 7 日	

### 各 種 議 員

氏 名	議 員 別	党 派	住 所
八 木 邦 継	神奈川県議会議員	自 民 党	六 浦 町 4,033
森 下 一 男	横浜市議会議員	自 民 党	洲 崎 町 127
宇 野 忠 夫	“	市 政 同 志 会	金 沢 町 1
田 村 耕 三	“	社 会 党	六 浦 町 4,843
渡 辺 義 雄	“	自 民 党	六 浦 町 3,523

事務分掌

区 長	課 長	係 長	係員数	主 要 取 扱 事 務
区 長 新 井 助 太 郎	総務課長 石渡 毅	庶務係長 藤原二三人	16 (吏員 含 派出所 含む)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公印の管守に関する事。</li> <li>2. 庁舎の管理庁中取締及び当直に関する事。</li> <li>3. 区役所出張所および吏員派出所に関する事。</li> <li>4. 自動車の臨時運行許可に関する事。</li> <li>5. 小学校及び中学校生徒の就学に関する事。</li> <li>6. 公職選挙法による学校施設の使用並びに学校中学校の校地、校舎の一時使用に関する事。</li> <li>7. 人事、文書、予算及び決算に関する事。</li> <li>8. 他の課、係長の主管に属しない事。</li> </ol>
		選挙係長 野村次郎	3	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種選挙に関する事。</li> <li>2. 選挙管理委員会に関する事。</li> </ol>
		市民係長 木佐森俊男	5	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 広報に関する事。</li> <li>2. 貯蓄奨励に関する事。</li> <li>3. 市民文化活動に関する事。</li> <li>4. 各種団体及び市出先機関の連絡調整に関する事。</li> <li>5. 区政に関する案内および相談に関する事。</li> <li>6. 災害救助に関する事。</li> <li>7. 漂流物及び海難に関する事。</li> <li>8. 戦没者遺家族等の援護に関する事。</li> <li>9. 民生委員の推せんに関する事。</li> <li>10. 商工業の振興に関する事。</li> <li>11. 地代家賃統制令に関する事。</li> </ol>
		農政係長 土肥政彦	1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 主要食糧の生産及び集荷に関する事。</li> <li>2. 農業委員会との連絡並びに農業に関する指導及び調査に関する事。</li> <li>3. 農地対価徴収令に基く農地等の対価の徴収に関する事。</li> </ol>
	戸籍統計課長 吉川憲治	戸籍係長 深沢太七	4	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 戸籍及び戸籍証明に関する事。</li> <li>2. 死産の届出に関する事。</li> <li>3. 埋葬、火葬及び改葬の許可に関する事。</li> <li>4. 自衛官の募集事務に関する事。</li> </ol>

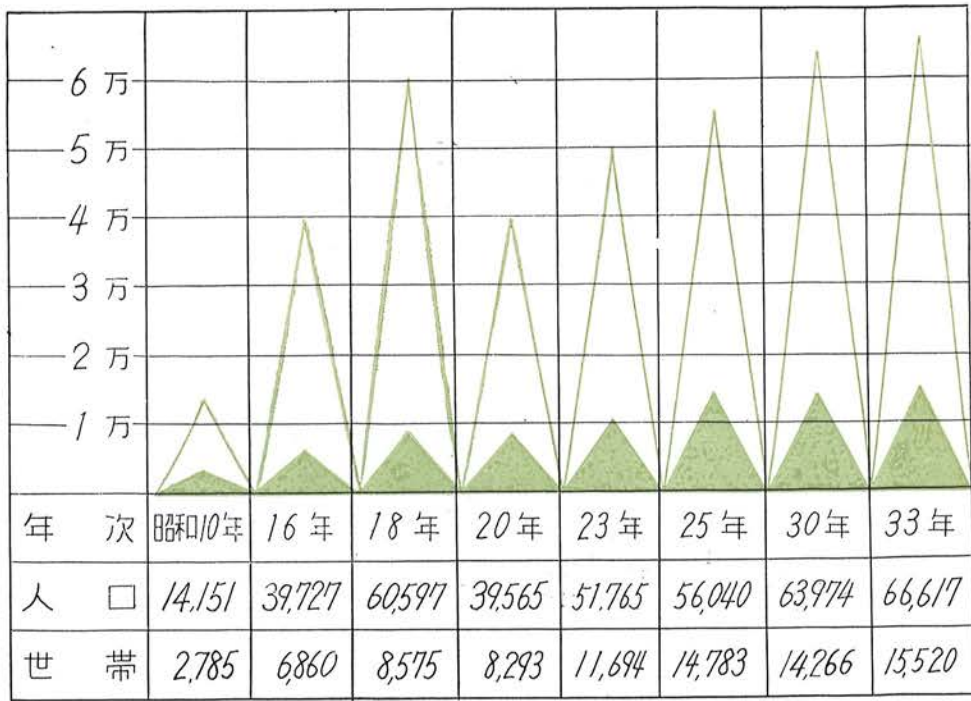
区 長	課 長	係 長	係員数	主 要 取 扱 事 務
		登録係長 中田 太郎	10	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 住民登録に関すること。</li> <li>2. 外国人登録に関すること。</li> <li>3. 主要食糧の配給に関すること。</li> <li>4. 転出入証明書の交付及び受理に関すること。</li> <li>5. 印鑑及び印鑑証明に関すること。</li> </ol>
		統計係長 田村 静三	2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 統計調査に関すること。</li> <li>2. 人口動態調査に関すること。</li> </ol>
	課税課長 須川 忠一	市民税係長 兵藤平七郎	8	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市税（固定資産税を除く）の課税資料の調査及び収集に関する こと。</li> <li>2. 市税（固定資産税を除く）の関すること。</li> <li>3. 市による所得の計算に関すること。</li> <li>4. 市税の鑑札に関すること。</li> <li>5. 市税（固定資産税を除く）の犯則事件の調査に関すること。</li> <li>6. その他税務に関すること。</li> </ol>
		固定資産税 係 長 長島平三郎	8	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 固定資産税の課税資料の調査及び収集に関すること。</li> <li>2. 固定資産税の賦課に関すること。</li> <li>3. 固定資産の評価事務に関すること。</li> <li>4. 固定資産課税台帳、土地名寄帳及び家屋名寄帳に関すること。</li> <li>5. 固定資産の地籍図等の整備保管に関すること。</li> <li>6. 固定資産税の犯則事件の調査に関すること。</li> </ol>
		収納係長 佐藤 邦夫	6	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市税に関する徴収金の収納に関すること。</li> <li>2. 納税奨励及び報償金の交付に関すること。</li> <li>3. 市税に関する過誤納金の還付充当及び加算金に関すること。</li> <li>4. 市税関係の証明に関すること。</li> <li>5. 徴税成績の報告に関すること。</li> </ol>
	徴税課長 鈴木元平	徴収係長 末柄辰雄	10	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市税に関する徴収金の出張徴収滞納者調査および差押執行に関 すること。</li> <li>2. 差押物件の引揚、保管および公売に関すること。</li> <li>3. 市税等の徴収嘱託及び受託に関すること。</li> <li>4. その他徴収整理に関すること。</li> </ol>
		区収入役 乾 長 吉	会計係長 大鷹丑造	3

人 口

人  
口



人 口 及 び 世 帯 の 動 き



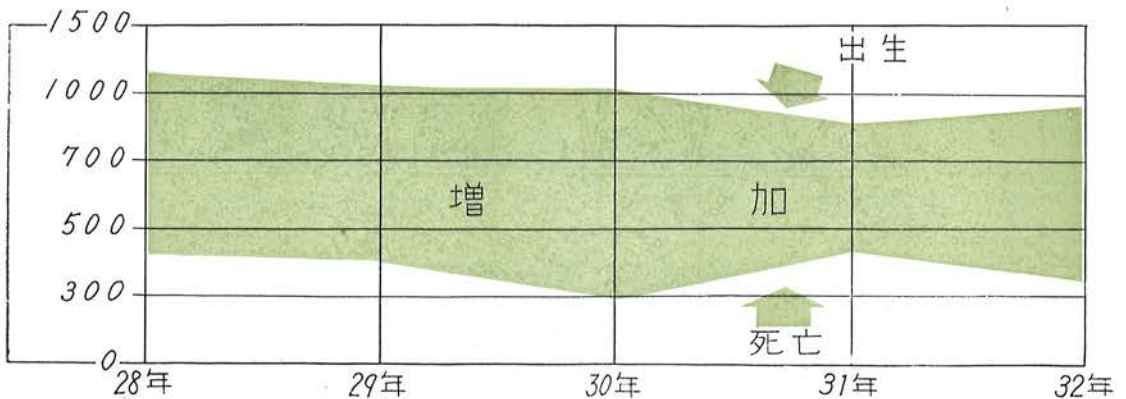
昭和10年以降の世帯及び人口の推移

年 月 日	種 別	世帯数	人 口			一世帯 当人口	備 考
			総 数	男	女		
昭和10年12月末日		2,785	14,151	7,408	6,743	5.08	推計
“16年12月末日		6,860	39,727	24,101	15,626	5.79	“
“18年12月末日		8,575	60,597	40,615	19,982	7.06	“
“20年12月末日		8,293	39,565	20,538	19,027	4.77	“
“23年8月1日		11,694	51,765	26,199	25,566	4.43	常任人口調査
“25年10月1日		14,783	56,040	28,215	27,825	3.79	国勢調査
“30年10月1日		14,266	63,974	32,622	31,352	4.48	“
“33年1月1日		15,520	66,617	34,018	32,599	4.29	推計

人 口 動 態

年 別	種 別	婚 姻	出 生	死 亡	離 婚	自 然 増 加
總 計		2,105	5,421	1,940	246	3,481
昭 和 2 8 年		447	1,228	405	46	823
“ 2 9 年		415	1,130	396	53	734
“ 3 0 年		415	1,071	350	51	721
“ 3 1 年		372	992	399	48	593
“ 3 2 年		456	1,000	390	48	610

自 然 増 加



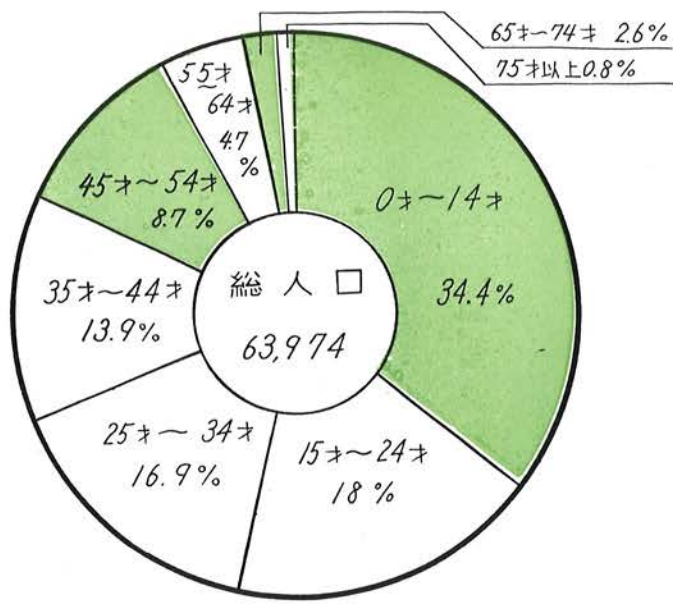
## 町別世帯及人口 (昭和33年1月1日現在)

人口

町別	町内会会長名	世帯	計	人口	
				男	女
[富岡地区]		1,766	7,849	3,956	3,884
青砥町内会	柳下佐喜藏	284	1,169	632	537
板橋町内会	小川信訓				
東部協議会	佐野明光	485	1,997	1,026	971
中部町内会	吉川憲治	251	1,083	518	565
南部町内会	大胡隆治	206	1,280	650	630
西部町内会	堤榮三郎	413	1,651	798	853
堀口町内会	坂巻純一	127	669	341	328
[金沢地区]		5,922	25,874	13,294	12,580
堀口自治会	石井慶造	77	341	190	151
長浜町内会	上村佐平	24	208	109	99
西柴自治会	田熊静	223	934	467	467
谷津町町内会	関哲郎	856	3,519	1,848	1,671
泥亀町内会	樋口好三	297	1,271	630	641
大川	山本栄次郎	46	185	91	94
金沢町町内会	石井満太郎	549	2,266	1,179	1,087
柴町内会	斎田周藏	268	1,469	732	737
寺前東町町内会	長島源太郎	607	2,530	1,356	1,174
寺前西町親睦会	芹沢豊	536	2,384	1,211	1,173
町屋町内会	鈴木貞次	625	2,826	1,452	1,374
金沢荘自治会	中沢小太郎	179	674	322	352
平潟町内会	粟屋真	489	2,214	1,172	1,042
平潟南部町内会	竹内福松	209	975	488	487
洲崎町内会	青木巽	243	1,141	598	543
洲崎東部町内会	竹内竹治	299	1,222	607	615
泥亀南部協和会	山本定喜	113	446	214	232
乙舩町内会	大元秀勇	138	642	315	327
野島町内会	木川藤松	141	627	313	314
[六浦地区]		6,116	26,374	13,496	12,878
瀬戸町内会	米元完二	514	2,158	1,063	1,095
六浦睦会	石塚勝藏	845	3,770	1,886	1,884
塩場町内会	神山角次郎	338	1,407	713	694
六浦南町内会	金井博	79	311	164	147

町 別	町内会長名	世 帯	計	人 口	
				男	女
川 町 内 会	蒲 谷 松 次 郎	437	1,827	951	876
東 川 健 民 会	土 橋 毅 淑	102	499	251	248
南 川 町 内 会	三 繩 正 太 郎	406	1,811	890	921
谷 戸 田 南 睦 会	田 中 春 雄	82	322	174	148
谷 戸 田 西 六 浦 友 和 会	鈴 木 雅 夫	25	104	52	52
東 大 道 親 交 会	鈴 木 万 造	404	1,753	912	841
西 大 道 町 内 会	小 山 内 信 之 助	584	2,616	1,349	1,267
三 艘 公 民 会	小 泉 節 之 助	632	2,782	1,425	1,357
高 谷 町 内 会	森 田 峯 吉	287	1,199	600	599
内 川 福 祉 協 会	前 沢 七 郎	406	1,868	1,028	840
瀬 ヶ 崎 東 部 町 内 会	松 野 政 吉	715	2,891	1,526	1,365
瀬 ヶ 崎 西 部 町 内 会	鎌 田 金 重				
室 の 木	寺 田 敏 夫	24	78	34	44
室 の 木	河 野 陽	35	132	64	68
室 の 木	梅 沢 一 美	67	272	127	145
ア パ ー ト (7. 8)	中 川 浩	97	341	165	176
ア パ ー ト (5. 6)	望 月 英 雄				
朝 比 奈 町 内 会	金 井 堯 吉	37	233	122	111
[釜利谷地区]		1,411	6,522	3,273	3,249
赤 井 町 内 会	桐 沢 信 次 郎	134	632	322	310
赤 井 住 宅 自 治 会	鈴 木 松 雄	66	284	131	153
赤 坂 御 仲 井 町 内 会	川 島 仁 三 郎	112	544	266	278
宿 町 内 会	佐 伯 良 登	121	544	276	268
宮 谷 町 内 会	小 峰 喜 四 郎	95	463	237	226
北 谷 町 内 会	小 林 錠 太 郎	57	311	162	149
坂 本 町 内 会	平 野 一 郎	175	833	429	404
白 山 道 町 内 会	吉 川 秀 雄	133	588	296	292
小 泉 町 内 会	片 岡 馨	518	2,323	1,154	1,169

年 令 階 級 別 人 口 割 合 表



年 令 5 才 階 級 別 人 口 (昭和30年10月1日現在)

区 分 年 令 別	人 口			男 女 年 令 別 割 合		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	63,974 <sup>人</sup>	32,622 <sup>人</sup>	31,352 <sup>人</sup>	100.0	50.9	49.1
0才～4才	6,182	3,244	2,938	9.7	5.1	4.6
5才～9才	8,645	4,445	4,200	13.9	6.9	6.6
10才～14才	7,143	3,701	3,442	11.2	5.8	5.4
15才～19才	5,476	2,859	2,617	8.6	4.5	4.1
20才～24才	6,000	3,410	2,590	9.4	5.3	4.1
25才～29才	5,764	2,901	2,863	9.0	4.5	4.5
30才～34才	5,062	2,298	2,764	7.9	3.6	4.3
35才～39才	4,575	2,145	2,430	7.2	3.4	3.8
40才～44才	4,258	2,230	2,028	6.7	3.5	3.2
45才～49才	3,159	1,666	1,493	4.9	2.6	2.3
50才～54才	2,402	1,326	1,076	3.8	2.1	1.7
55才～59才	1,717	864	853	2.7	1.4	1.3
60才～64才	1,291	607	684	2.0	0.9	1.1
64才～69才	1,048	469	579	1.6	4.7	0.9
70才～74才	680	260	420	1.1	0.4	0.7
75才～79才	384	143	241	0.6	0.2	0.4
80才～84才	148	48	100	0.2	0.1	0.1
85才～89才	38	4	34	0	0	0
90才～94才	2	2	0	0	0	0
95才～99才	0	0	0	0	0	0
100才～	0	0	0	0	0	0

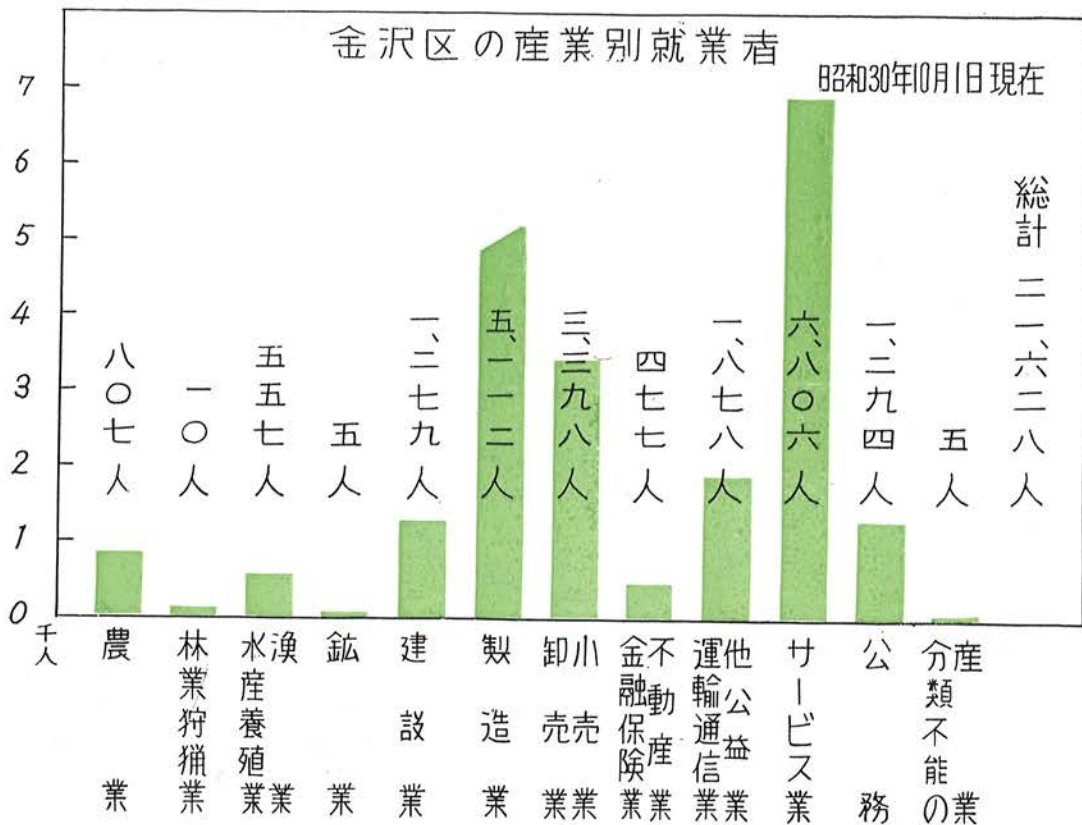


# 産 業

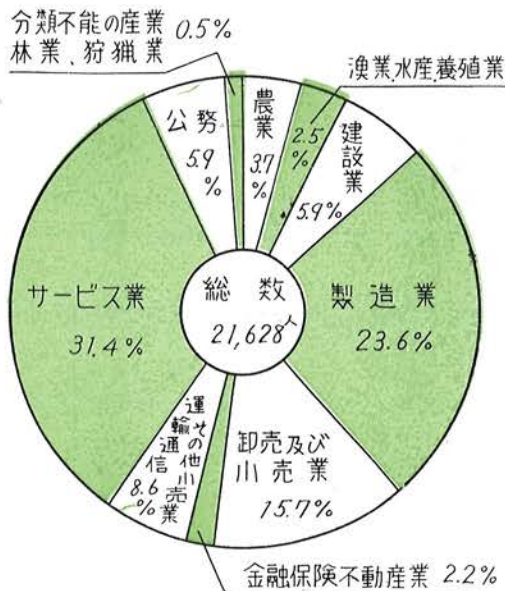
## 金沢区の産業別就業者

昭和30年10月1日現在

総計 二一、六二八人

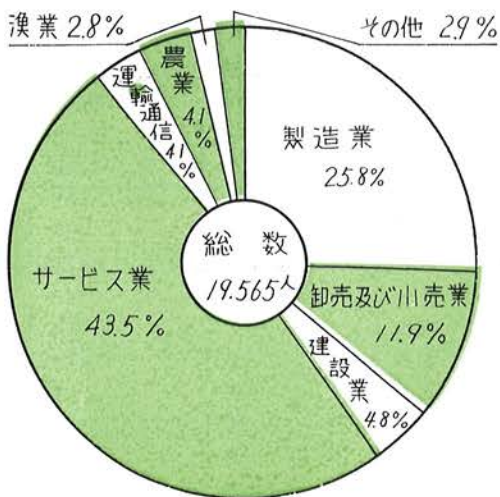


産業別就業者割合



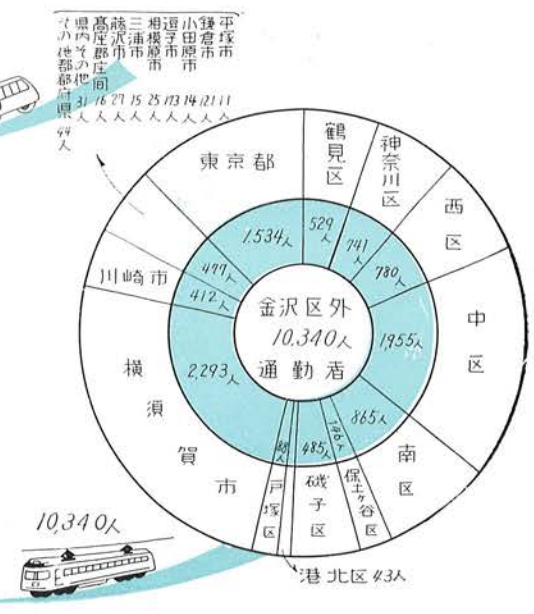
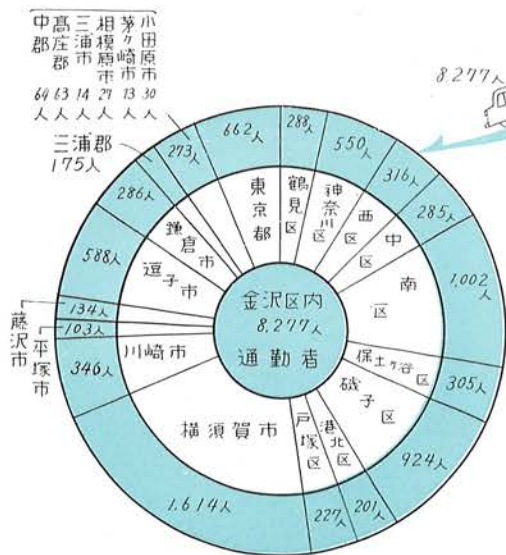
産業別昼間従業者割合

常住産業人口 + 産業流入人口 = 昼間産業人口

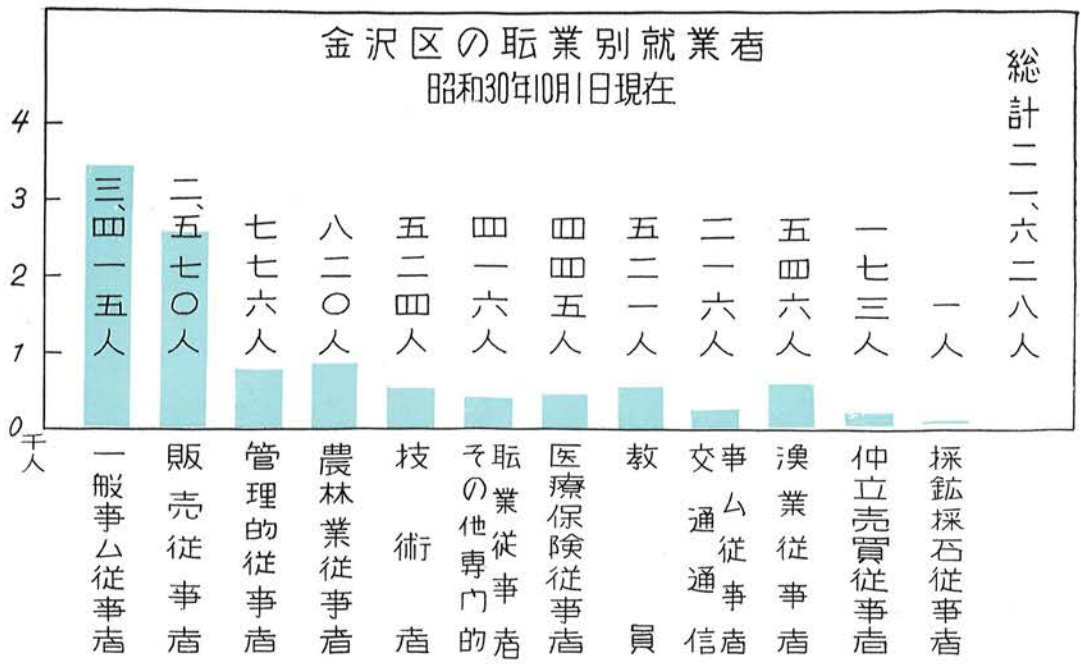


金沢区内への通勤者

金沢区内より他方面への通勤者



金沢区の職業別就業者  
昭和30年10月1日現在



産 業 の 推 移

区 別 産 業 別	四 人 以 上						三 人 以 下					
	2 9 年		3 0 年		3 1 年		2 9 年		3 0 年		3 1 年	
	事業所	従業者	事業所	従業者	事業所	従業者	事業所	従業者	事業所	従業者	事業所	従業者
総 数	55	4,530	53	3,557	50	3,676	25	57	26	65	25	65
食 料 品 製 造 業	22	177	19	180	16	152	9	22	10	26	9	23
織 維 工 業	4	127	1	X	2	X	—	—	—	—	—	—
被 服 及 び 身 廻 品 製 造 業	—	—	4	79	1	X	4	9	4	8	4	10
木 材 及 び 木 製 品 製 造 業	2	X	1	X	1	X	2	X	1	X	—	—
家 具 及 び 装 備 品 製 造 業	1	X	2	X	3	18	2	—	3	6	2	X
パ ル プ 紙 及 び 紙 加 工 品 製 造 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
出 版 印 刷 及 び 出 刊 連 産 業	1	X	1	X	2	X	4	8	4	11	6	16
化 学 工 業	1	X	1	X	1	X	—	—	—	—	—	—
石 油 及 び 石 炭 製 品 製 造 業	1	X	1	X	1	X	—	—	—	—	—	—
ゴ ム 製 品 製 造 業	—	—	—	—	1	X	—	—	—	—	—	—
皮 革 及 び 皮 革 製 品 製 造 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
窯 業 及 び 土 石 製 品 製 造 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鉄 鋼 業	1	X	1	X	1	X	—	—	—	—	—	—
非 鉄 金 属 製 造 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金 属 製 品 製 造 業	4	138	4	88	5	151	—	—	—	—	—	—
武 器 製 造 業	1	X	2	X	2	X	—	—	—	—	—	—
機 械 製 造 業 (電 気 機 械 器 具 除 く)	7	1,962	7	1,145	6	875	—	—	—	—	—	—
電 気 機 械 器 具 製 造 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	8	1,435	7	1,423	7	1,616	3	7	3	14	3	8
精 密 機 械 器 具 製 造 業	2	691	2	642	1	864	—	—	—	—	—	—
そ の 他 の 製 造 業	—	X	—	—	—	—	1	11	1	X	1	8

註 2 以下についてはXとした。



組織別工場数

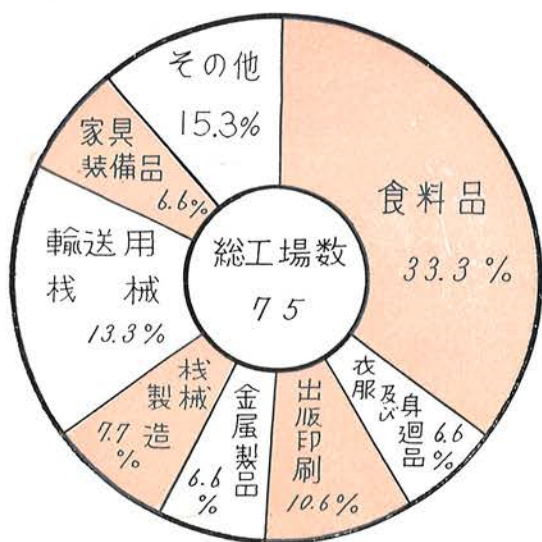
昭和31年12月31日現在

総数	株式	合資	合名	有限	組合	個人	その他
75	22	5	—	19	—	29	—

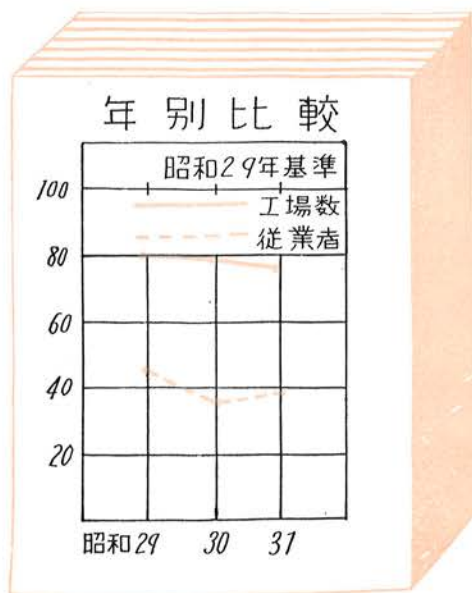
規模別工場数

総数	3人以下	4人～ 9人	10人～ 19人	20人～ 29人	30人～ 49人	50人～ 99人	100人～ 299人	300人～ 499人	500人以上
75	25	19	14	7	5	1	—	4	—

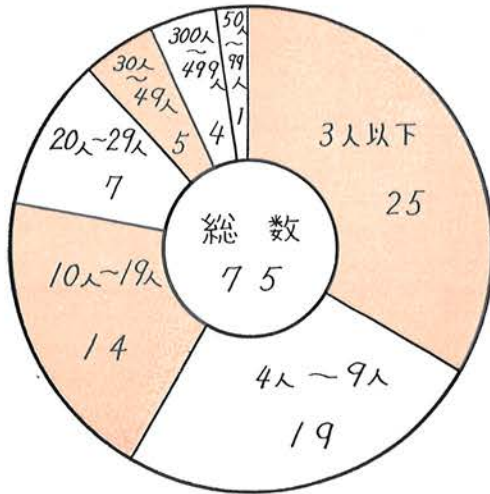
産業別工場数割合



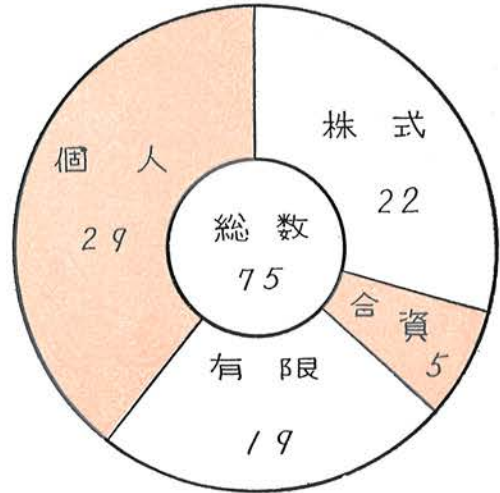
年別比較



従業者別工場数

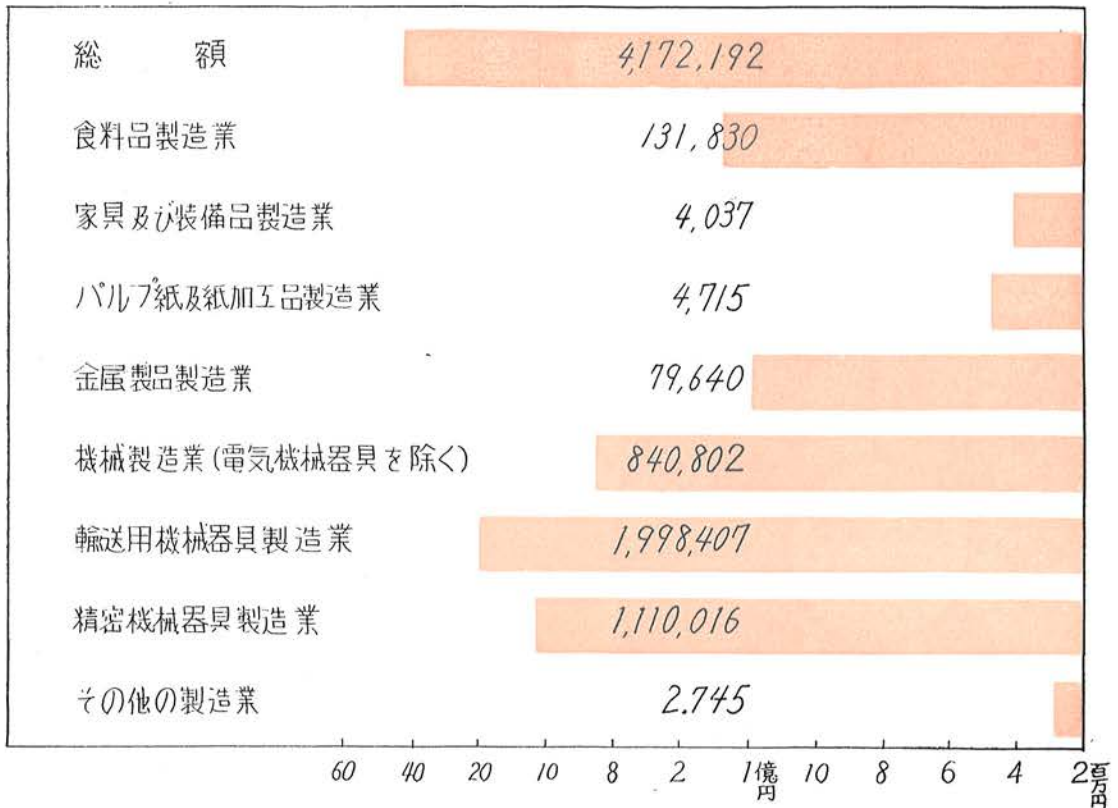


組織別工場数



製造品出荷額

昭和31年12月31日 (千円未満切捨)



# 商 業

商  
業

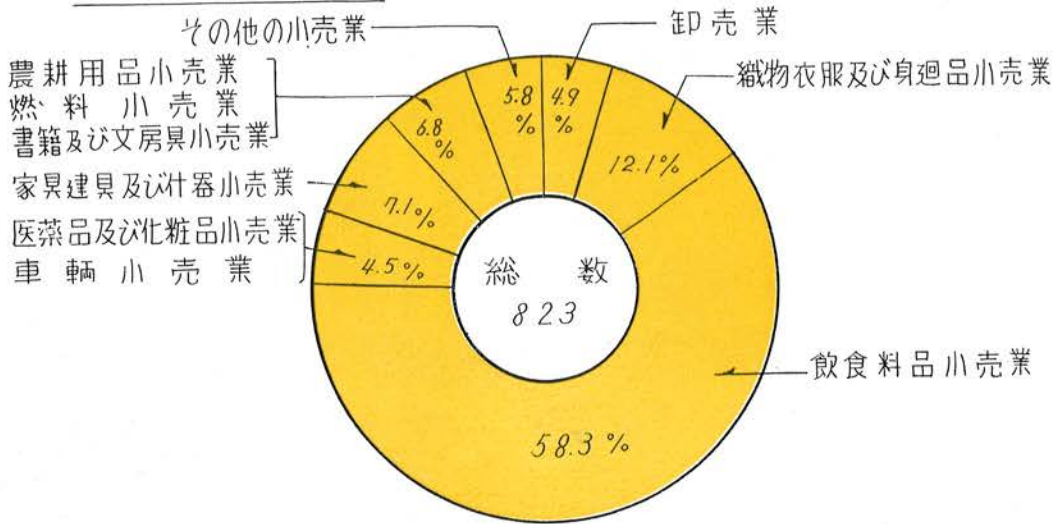


## 商店数と従業者数

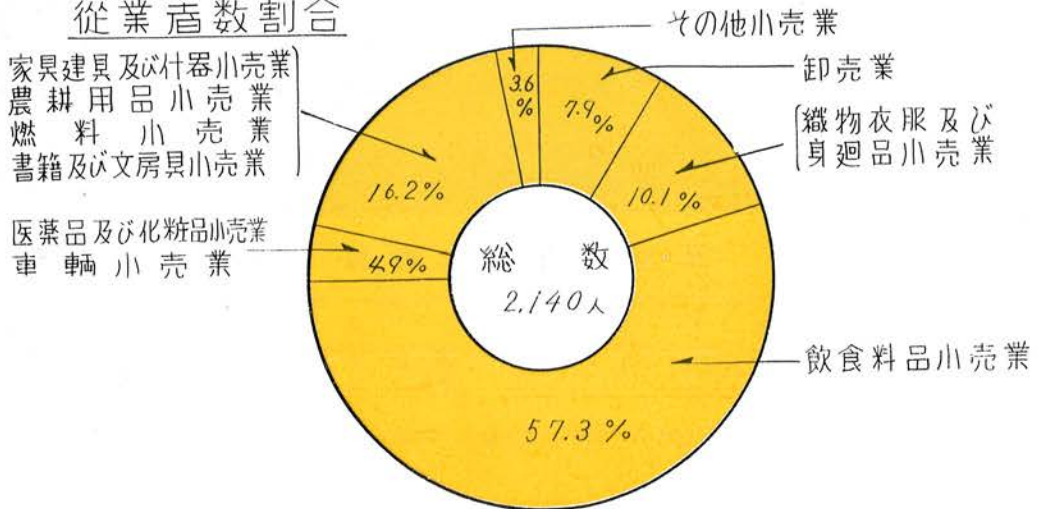
(昭和31年7月1日)

産業別	商店数			従業者数						月間販売額 <small>千円</small>
	計	個人	法人	計	個人 事業主	家族 従業者	会社 有給役員	団体の 役員	常 用 者 労働者	
総計	823	590	233	2,140	579	466	375	720	226,406	
卸売業	41	18	23	170	17	15	48	90	35,819	
代理商及び仲立業	1	0	1	X	—	—	X	X	—	
織物衣服及び 織身廻品小売業	100	72	28	217	69	53	45	50	15,731	
飲食料品小売業	480	345	135	1,227	342	296	200	389	138,253	
医薬品及び化粧品小売業	26	15	11	75	15	7	13	40	7,039	
車輛小売業	11	6	5	31	6	3	13	9	2,358	
家具建具及び什器小売業	59	40	19	137	40	28	35	34	8,756	
農耕用品小売業	5	4	1	7	4	2	—	1	781	
燃料小売業	18	13	5	43	13	10	7	13	3,109	
書籍及び文房具小売業	34	30	4	154	26	23	13	92	9,806	
他に分類されない その他の小売業	48	47	1	79	47	29	1	2	4,754	

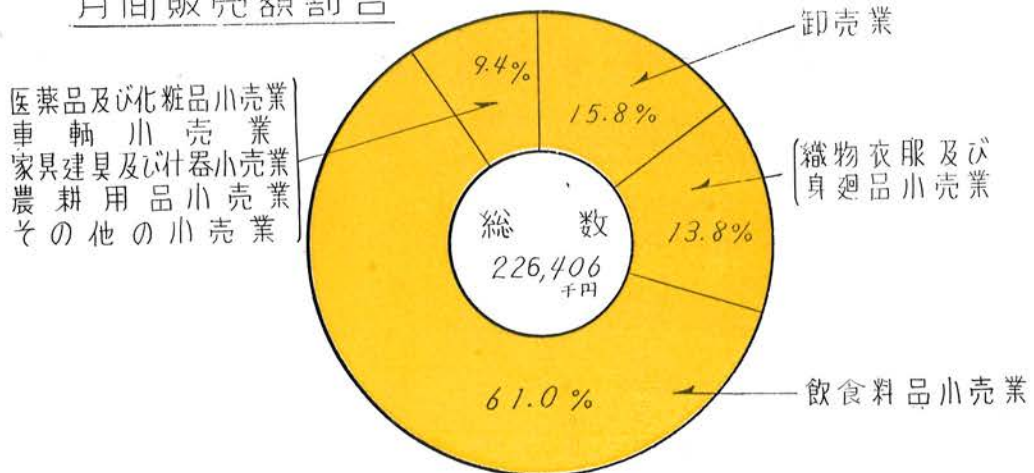
### 商店数割合



### 従業員数割合



### 月間販売額割合



# 農 業



經營規模別戸数

33.1.1現在

区 分	農 家 戸 数	3 反 未 満	3 反 ~ 5 反	5 反 ~ 10 反	10 反 ~ 15 反	15 反 以 上
戸 数	439	223	90	113	13	0
比 率	100	50.8	20.5	25.7	3.0	0

經營規模別人口数

33.1.1現在

区 分 反 別	農 家 戸 数	人 口			
		計	0 ~ 4 才	5 ~ 14	15 以 上
總 数	439	3,259	227	647	2,385
3 反 未 満	223	1,907	93	320	1,294
3 反 ~ 5 反	90	630	60	129	441
5 反 ~ 10 反	113	797	62	172	563
10 反 ~ 15 反	13	125	12	26	87



### 耕作面積の推移

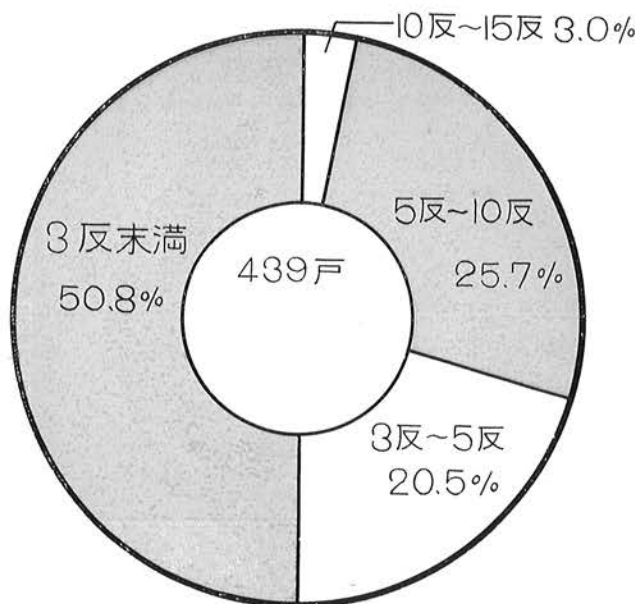
年 別	区 分	耕 作 面 積		前年に比して増△減			
		田	畑	田	畑		
昭 和	30 年	631反	836反	△	20反	△	6反
	31 年	613	818	△	18		33
	32 年	600	787	△	13		31

### 農 産 別 生 産 状 況

32年中

品 名	作 付 面 積	生 産 高
水 稲	630反	1,304石
陸 稲	130	77石
麦 類	299	474石
蔬 菜 類	685	318,590貫
馬 鈴 薯	136	50,048貫
甘 藷	140	52,000貫
花 卉 類	17	135,500本

### 経営規模別割合



漁業

世帯数 334

人口 15,698



種類別漁獲高

年別	区分	総数	種類			
			魚	貝	その 水産動物	海藻
昭和	30年	213,880	58,668	47,741	8,020	99,451
	31年	185,947	50,149	16,587	19,538	99,673
	32年	188,714	45,654	19,486	19,618	103,956

動力無動力漁船数

動力

33.1.1現在

総計	一本釣漁船	延縄漁船	打瀬網漁船	その他漁船
223 隻	54	50	79	40

無動力

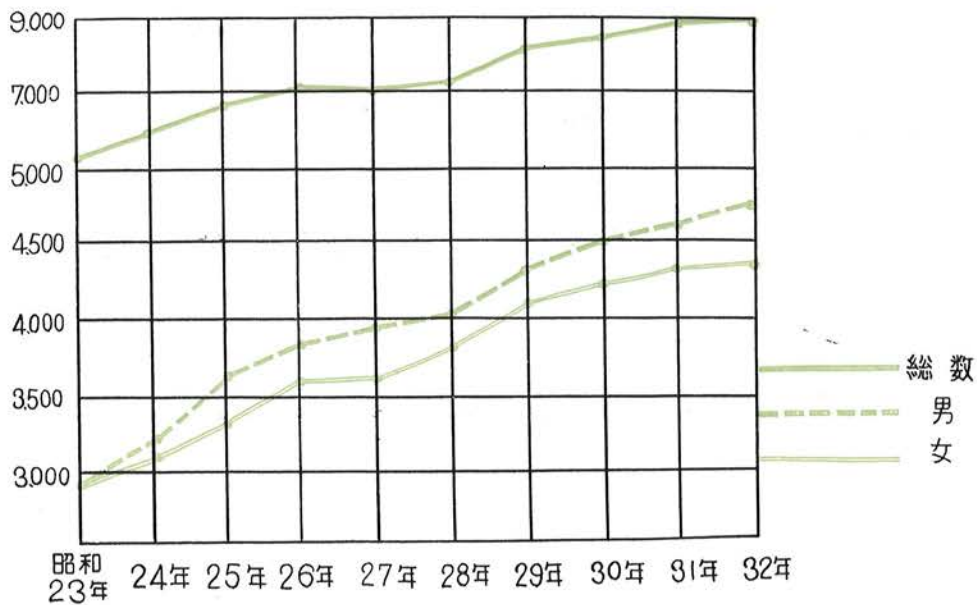
33.1.1現在

総計	採藻漁船	一本釣漁船	延縄漁船	打瀬網漁船
373 隻	352	16	5	0

註 世帯数は漁業組合の正組合員数



昭和23年以降児童数の推移



学校基本調査児童数

(自昭和23年至昭和32年)

内容種別 年 別	学 校 数	学 級 数	兒 童 数		
			總 数	男	女
昭和23年度	5	125	6,188	3,183	3,005
昭和24年度	5	143	6,801	3,463	3,338
昭和25年度	5	154	7,420	3,844	3,576
昭和26年度	5	159	7,917	4,044	3,873
昭和27年度	7	163	7,954	4,107	3,847
昭和28年度	7	(44) 163	8,171	4,215	3,956
昭和29年度	(1) 7	(57) 179	8,845	4,542	4,303
昭和30年度	8	(76) 195	9,120	4,700	4,420
昭和31年度	8	(63) 191	9,420	4,822	4,598
昭和32年度	8	(68) 193	9,491	4,912	4,572

註 ( ) は二部学級数

学校種別総数

(32.5.1.現在)

内容種別 学校種別	学校数	教 員 数			生 徒 教			学級数	一学級平均生徒数	31年度 卒業者	1 校 当 り		
		總 数	本務者	兼務者	總 教	男	女				教 員	生徒数	
總 数	29	1,053	875	178	21,540	13,710	7,830	365	308	24,350	155	3,951	
私立幼稚園	7	31	27	4	446	224	222	19	23	338	14	63	
小学校	公立	8	223	222	1	9,491	4,912	4,579	193	49	1,311	27	118
	私立	1	20	17	3	443	267	176	12	37	57	20	443
中学校	公立	3	100	99	1	3,724	1,940	1,784	77	48	17,297	33	1,241
	私立	2	43	30	13	762	594	168	15	51	3,840	21	381
高等学校	公立	1	35	31	4	763	388	375	15	51	236	22	763
	私立	2	95	85	10	1,684	1,545	139	34	49	296	18	842
大 学	公立	1	313	242	71	2,084	1,946	138	—	—	533	—	—
	私立	1	142	94	48	1,852	1,821	31	—	—	292	—	—
私立短期大学	1	46	23	23	245	73	172	—	—	120	—	—	
私立各種学校	2	5	6	—	46	—	46	—	—	30	—	—	

幼 稚 園

(32.5.1.現在)

内容種別 学校名	教 員 数			幼 児 数			32 年 度	31 年 度
	総 数	本 務 者	兼 務 者	総 数	男	女	入 園 者 数	修 了 者 数
総 数	31	27	4	446	224	222	339	338
関 東 学 院	3	3	—	65	39	26	50	54
大 道	4	2	2	42	19	23	37	35
天 使	7	7	—	105	53	52	78	79
富 岡	3	2	1	59	22	37	51	62
ルンピニ花園	5	5	—	66	30	36	57	62
光 輪	4	3	1	49	23	26	31	36
さ と な み	5	5	—	60	38	22	35	10

小 学 校

(32.5.1.現在)

公立 私立	学校名	内種 容別	教 員 数			生 徒 数			学 級 数	1 学 級 均 数 平 生 徒	31 年 度 卒 業 者
			総 数	本 務 者	兼 務 者	総 数	男	女			
	総 数		243	239	4	9,934	5,179	4,755	205	48	1,368
	計		223	222	1	9,491	4,812	4,579	193	49	1,311
公立	富 岡		21	21	—	885	451	434	18	49	123
	金 沢		37	37	—	1,615	805	810	31	52	223
	八 景		23	23	—	938	486	452	21	44	108
	文 庫		28	28	—	1,201	649	552	24	50	168
	六 浦		26	26	—	994	527	467	21	47	148
	釜 利 谷		27	26	1	1,125	564	561	23	49	149
	大 道		41	41	—	1,900	993	907	37	51	283
	瀬ヶ崎		20	20	—	833	437	396	18	46	109
	計		20	17	3	443	267	176	12	37	57
私立	関東学院 六 浦		20	17	3	443	267	176	12	37	57

中 学 校

(32.5.1.現在)

公私立別	内容種別 学校名	教 員 数			生 徒 数			学 級 数	1 学 級 均 数 平 生 徒 数
		総 数	本 務 者	兼 務 者	総 数	男	女		
公立	総 数	143	129	14	4,486	2,534	1,952	92	48
	計	100	99	1	3,724	1,940	1,784	77	48
	金 沢	51	50	1	1,856	961	895	38	48
	六 浦	33	33	—	1,295	686	609	27	47
私立	六浦塩場分校	16	16	—	573	293	280	12	47
	計	43	30	13	762	594	168	15	50
	横 浜	16	3	13	132	132	—	3	44
	関東学院六浦	27	27	—	630	462	168	12	52

高 等 学 校

(32.5.1.現在)

公私立別	内容種別 学校名	教 員 数			生 徒 数			学 級 数	1 学 級 均 数 平 生 徒 数
		総 数	本 務 者	兼 務 者	総 数	男	女		
公立	総 数	130	116	14	2,447	1,933	514	49	49
	計	35	31	4	763	388	375	15	51
	金 沢	35	31	4	763	388	379	15	51
私立	計	95	85	10	1,684	1,545	139	34	49
	横 浜	47	44	3	1,180	1,180	—	23	51
	関東学院六浦	48	41	7	504	365	139	11	45

大 学

(32.5.1.現在)

公 私 別	内容種別 学校名	教 員 数			生 徒 数		
		総 数	本 務 者	兼 務 者	総 数	男	女
公 立	総 計	501	359	142	4,181	3,840	341
	計	313	242	71	2,084	1,946	138
	市 立	313	242	71	2,084	1,946	138
私 立	計	188	117	71	2,097	1,894	203
	関 東	142	94	48	1,852	1,821	31
	短 大	46	23	23	245	73	172

註 短大の生徒数は夜間部を含む

各 種 学 校

(32.5.1.現在)

学校名	内容種別	教 員 数			生 徒 数			31年度卒業者
		総 数	本 務 者	兼 務 者	総 数	男	女	
総 数		5	5	0	168	—	168	105
八景ドレスメーカー 一 女 学 院		4	4	0	122	—	122	75
金沢文化洋裁学院		1	1	0	46	—	46	30

# 民 生

## 生活保護法による保護の状況

昭和32年4月～33年1月現在

区分 扶助種別	支給額	世帯実数	実人員	一世帯当り 平均額	一人当り 平均額
生活扶助費	19,037,497	559	2,076	34,056	9,218
住宅扶助費	1,142,670	316	1,837	3,616	823
教育扶助費	2,339,393	368	788	6,357	2,968
医療扶助費	18,940,352	490	848	38,446	22,335
出産扶助費	5,655	3	3	1,885	1,885
生業扶助費	41,250	5	5	8,270	8,270
葬祭扶助費	57,801	25	25	2,312	2,312
合 計	41,564,718	1,766	5,132	23,536	8,099

※ 医療扶助費は基金事務所支払分（12月分までを含む）

## 社会事業団体施設状況

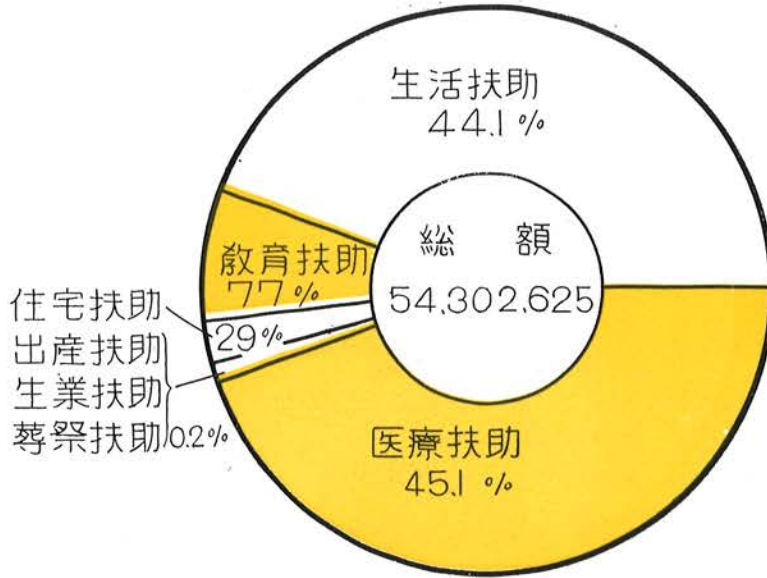
昭和33年1月1日現在

内容種別 名称	収 客 人 員			年間延人員	公私立 の 別	施設種別	監 督 者	
	計	男	女				代 表 者	責 任 者
恵風母子寮	44	13	31	16,790	公	母子寮	横浜市市長	佐藤三郎
金沢母子寮	87	36	51	32,120	私	〃	梅崎英雄	田頭晴弥
さくら保育園	49	21	28	18,980	公	保育所	横浜市市長	一之瀬徳太郎
金沢愛児園	88	40	48	32,120	私	〃	梅崎英雄	田頭晴弥
白梅保育園	24	13	11	9,125	〃	〃	小泉金助	小泉金助
金沢保育園	1	1	—	365	〃	〃	永田智恵子	永田智恵子
六浦保育園	13	10	3	4,745	〃	〃	六浦正隆	六浦正隆
富岡学園	30	16	14	10,950	公	養護施設	横浜市市長	佐藤三郎
合 計	336	150	186	125,195				

## 身体障害者の数及び手帳交付数

障害別 手帳交付数	視力障害	聴力障害	言語障害	肢体障害	計
人 員, 手帳交付数	62	45	0	207	314

昭和 31 年度扶助費支出額



各種募金状況

日赤募金並日赤奉仕団特別募金状況

種別 年別	日赤募金			日赤奉仕団募金		
	目標額	募金額	達成率	目標額	募金額	達成率
昭和 29 年	437,000	408,950	93.58%	195,795	183,270	93.60%
” 30 年	449,000	442,280	98.50	209,940	189,549	90.29
” 31 年	551,000	556,715	101.04	205,000	172,770	84.28

共同募金状況

種別 年別	目標額	募金額	達成率
昭和 29 年	966,000	910,020	94.20%
” 30 年	1,003,800	911,594	90.81
” 31 年	1,003,800	958,177	95.45



## 選挙

年別選挙人名簿登載者数

年 別		昭和30年	昭和31年	昭和32年
区 分				
基本選挙人名簿	計	36,769	38,063	38,571
	男	18,563	19,281	19,539
	女	18,206	18,782	19,032
農業委員会委員選挙人名簿	計	1,298	1,219	1,263
	男	646	611	619
	女	652	608	644
海区漁業調整委員会委員選挙人名簿	計	1,136	1,100	1,072
	男	553	540	533
	女	581	558	537
	法人	2	2	2

投開票区別基本選挙人名簿登載者数

昭和32年12月20日現在

開 票 区				投 票 区			
開票区名	計	男	女	投票区名	計	男	女
第 1	19,717	10,013	9,704	第 1	4,323	2,180	2,143
				2	3,747	1,942	1,805
				3	5,255	2,692	2,563
				4	2,450	1,211	1,239
				5	3,942	1,988	1,954
第 2	18,854	9,526	9,328	第 6	4,171	2,203	1,968
				7	2,602	1,302	1,300
				8	3,671	1,839	1,832
				9	4,698	2,367	2,331
				10	3,712	1,815	1,897

各 選 挙 投 票 率

執行年月日	選挙の種別	投 票 率		
		計	男	女
昭和30年2月27日	衆議院議員選挙	66.4%	70.4%	62.2%
" 30 4 23	地方選挙	71.8	72.0	71.7
" 31 7 8	参議院議員選挙	55.5	59.0	51.9

# 市 税

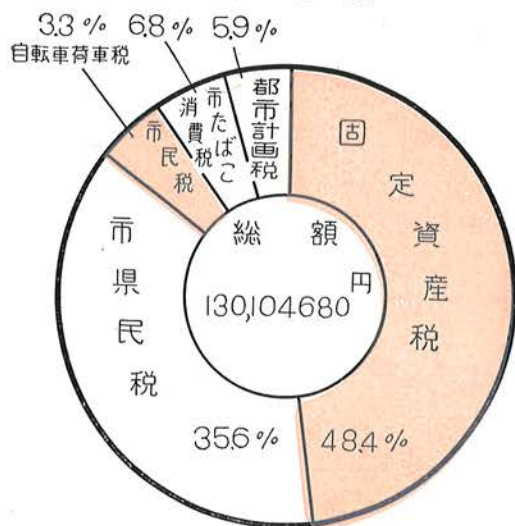
市  
税

## 調 定 額 並 び に 収 入 済 額

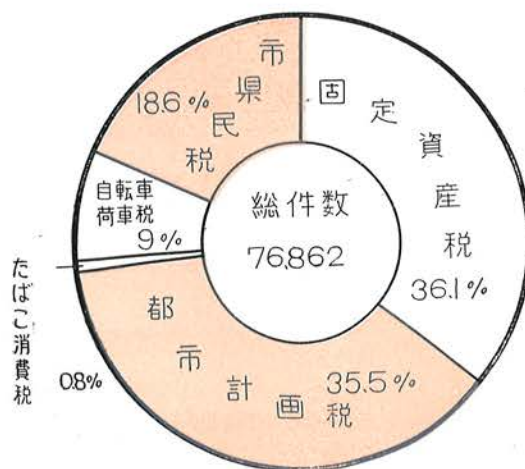
昭和 32 年 12 月 末 現 在

税 目	調 定 済 額		収 入 済 額	
	税 額	件 数	税 額	件 数
市 民 税	2,048,520	410	1,534,860	326
固 定 資 産 税	63,026,770	27,794	53,938,730	20,519
自 転 車 荷 車 税	1,949,760	6,940	1,665,460	5,980
市 た ば こ 消 費 税	8,944,800	9	8,944,800	9
市 県 民 税	46,414,330	14,351	39,284,590	10,369
都 市 計 画 税	7,720,500	27,358	6,471,413	20,227
合 計	130,104,680	76,862	111,839,853	57,430

調 定 額



調 定 件 数



保 健 ・ 衛 生



金 沢 保 健 所

医 師 及 び 医 療 施 設

昭 和 33 年 1 月 1 日 現 在

施 設 別 区 分	施 設 別 医 師 及 び 薬 剂 師 数				施 設 別 ベツト数	施 設 別 数
	計	医 師	歯 科 医 師	薬 剂 師		
金 沢 保 健 所	7 [1]	5 [1]	1 [1]	1	—	1
病 院	56 (6)	44 (6)	3	9	899	4
一 般 診 療 所	38 [1]	37 [1]	—	1	26	33
歯 科 診 療 所	18 [1]	—	18 [1]	—	—	13

注 ( ) は非常勤 [ ] は医師歯科医師の併有者を示す

理 容 , 美 容 , 公 衆 浴 場 数

昭 和 33 年 1 月 1 日 現 在

理 容 業		美 容 業		公 衆 浴 場	
理 容 所 数	従 業 者 数	美 容 所 数	従 業 者 数	浴 場 数	従 業 者 数
54	147	39	88	24	120

保健所利用状況

年 別	種 別	結核健康相談	性病相談	妊産婦	乳幼児
昭和	31年	7,013	1,635	912	3,805
昭和	32年	5,499	1,571	850	4,802

昭和32年死因別死亡数

死 因 別	区 分	年間死亡数	死 亡 率 (1,000人に付)	男 女 別	
				男	女
全	死	376	5.68%	194	182
1.	伝染病及び寄生虫病	47	0.71	19	28
2.	新 生 物	52	0.79	22	30
3.	アレルギー性疾患, 内分泌系の疾患, 物質代謝 及栄養の疾患	6	0.09	2	4
4.	精神病, 精神神経系及人格異常	1	0.02	0	1
5.	神経系及感覚器の疾患	81	1.22	49	32
6.	循環器系の疾患	41	0.62	14	27
7.	呼吸器系の疾患	37	0.56	18	19
8.	消化器系の疾患	25	0.38	15	10
9.	性尿器系の疾患	11	0.17	8	3
10.	分娩並に妊娠分娩及び産褥の合併症	1	0.02	0	1
11.	皮膚及び疎性結合組織の疾患	1	0.02	1	0
12.	先 天 奇 型	3	0.05	2	1
13.	新生児の主要疾患症	10	0.15	7	3
14.	症状, 老衰及び診断書不適當の状態	31	0.47	15	16
15.	不慮の事故, 中毒及暴力	29	0.44	22	7

交 通



京浜急行 金 沢 文 庫 駅

各 駅 乗 降 人 員 1 日 平 均

(昭和32.1~12月)

区 別 駅 名	乗 車		降 車	
	定 期 外	定 期	定 期 外	定 期
總 数	90,653	240,938	93,994	240,938
富 岡 駅	8,681	17,594	8,582	17,594
谷 津 坂 駅	5,713	26,993	6,036	26,993
文 庫 駅	30,255	64,543	3,132	64,543
八 景 駅	33,515	101,217	34,379	101,217
六 浦 駅	12,489	30,591	13,165	30,591

月別乗車1日平均

(昭和32.1 ~ 12月)

月別	駅名	富岡駅	谷津坂駅	文庫駅	八景駅	六浦駅
1	月	1,971	2,431	7,736	11,094	3,960
2	月	1,904	2,530	7,500	10,747	3,814
3	月	1,869	2,298	7,369	10,098	3,775
4	月	2,166	3,097	8,335	12,019	4,111
5	月	2,087	2,876	8,279	11,618	3,961
6	月	2,144	2,934	7,928	11,803	4,019
7	月	2,263	2,799	8,016	10,669	4,038
8	月	2,645	1,988	7,996	10,901	3,936
9	月	2,284	2,894	8,012	11,560	4,010
10	月	2,276	2,924	7,990	11,653	4,053
11	月	2,357	3,061	7,954	11,993	4,043
12	月	2,309	2,874	7,683	10,577	3,860
年間1日平均		2,190	2,726	7,900	11,228	3,965

月別降車1日平均

(昭和32.1 ~ 12月)

月別	駅名	富岡駅	谷津坂駅	文庫駅	八景駅	六浦駅
1	月	1,988	2,466	7,760	11,160	3,985
2	月	1,972	2,510	7,625	10,772	3,882
3	月	1,905	2,277	7,482	9,898	3,733
4	月	2,207	3,134	8,494	12,064	4,212
5	月	2,141	2,912	8,526	11,711	4,050
6	月	2,175	2,962	8,100	11,900	4,089
7	月	2,182	2,806	8,116	10,922	4,114
8	月	2,221	2,085	8,031	11,068	4,062
9	月	2,244	2,942	8,287	11,651	4,102
10	月	2,370	2,954	8,115	11,728	4,101
11	月	2,422	3,087	8,109	12,023	4,065
12	月	2,349	2,894	7,730	10,699	3,861
年間1日平均		2,181	2,752	8,031	11,300	4,021

交  
通

# 通 信

## 郵 便 局

(33.1.1.現在)

普通局	特定局	公衆電話	電話中継所	切手売捌所	電話所	ホスト
1	5	52	—	20	—	26

## 普 通 郵 便 物

(32.4.1.～翌2.28)

種 別 年 度 別	總 数	通 常 郵 便		小 包 郵 便	
		引 受	配 達	引 受	配 達
昭 和 31 年	3,423,927	1,327,926	2,061,676	—	34,325
昭 和 32 年	3,695,894	1,482,518	2,170,345	—	43,031

## 特 殊 郵 便 物

(32.4.1.～翌2.28)

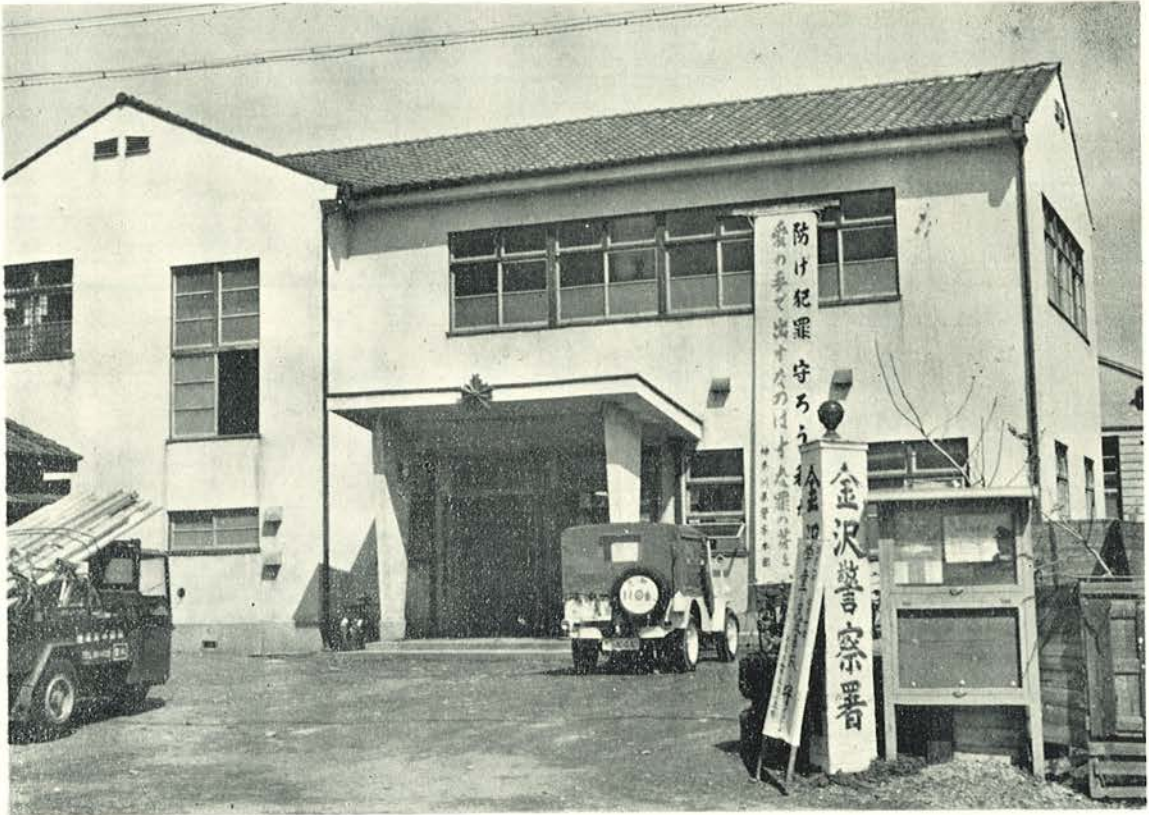
種 別 年 度 別	總 数	郵 便		小 包	
		引 受	配 達	引 受	配 達
昭 和 31 年	51,576	35,265	—	16,311	—
昭 和 32 年	68,913	50,382	—	18,531	—

## 電 報

種 別 年 度 別	電 報 總 数	發 信	着 信	中 繼 信
昭 和 31 年	37,292	9,171	27,959	101
昭 和 32 年	39,716	9,151	30,462	103

## 電 話

種 別 年 度 別	市 内 呼 数	市 外 電 話 時 数			
		發 信	着 信	中 繼 信	合 計
昭 和 31 年	2,196,979	243,453	—	—	—
昭 和 32 年	3,296,979	157,188	—	—	—



金 沢 警 察 署

金沢警察署は明治19年警察制度確立により一郡一署制が敷かれ金沢も久良岐郡警察署管轄の下に六浦引越の泥牛庵（現在）に六浦荘三分駐在所ができた。

これが金沢に警察のできたはじめてで、それは現在の六浦派出所の前である。その後洲崎、釜利谷、富岡、寺前にも駐在所ができ明治、大正、昭和と60年間金沢の治安はこれら駐在所による巡査によつて維持された。

第2次世界大戦を機に金沢は発展し昭和23年5月15日区制が施行され同年10月当時の横浜市水道局詰所の建物に金沢警部派出所が置かれた。その後急激な人口増加に伴い一区一警察制の要望に応じて磯子警察署管下にあつた当区の警察は昭和26年10月5日磯子から分離し金沢警察署が誕生した。翌昭和27年7月現在の警察署庁舎が完成した。



○昭和 28 年 以 降 主 な 事 件

昭28. 11. 8	富岡町アベック強盗事件	昭31. 12. 8	村松印刷横浜工場放火事件
29. 3. 1	郵便局自動車ギャング事件	31. 12. 8	米水兵2人組自動車強盗事件
29. 10. 7	高橋巡査(田浦署)殺し事件	32. 1. 7	みどり質店日本刀強盗事件
30. 5. 15	室の木自動車強盗事件	32. 10. 16	富岡分譲地強盗未遂事件
31. 4. 30	室の木三角山強かん事件	32. 11. 5	八景園ホテル強盗傷人事件(未解決)

交 通 事 故 の 発 生 状 況

内 容	年 度 別					
	2 8 年	2 9 年	3 0 年	3 1 年	3 2 年	
年 間 の 発 生 事 件	157	118	138	230	237	
人 的 被 害	死亡者	11	11	3	6	6
	負傷者	107	62	93	147	155

犯 罪 ( 刑 法 犯 ) 事 件 の 状 況

年 度 別	内 容		囚 悪 犯		窃 盗 犯		其 他 の 刑 法 犯		検 挙 率
	総 数	発 生 検 挙	発 生	検 挙	発 生	検 挙	発 生	検 挙	
28 年	1,081	983	14	14	775	657	292	211	
29 年	865	894	14	16	579	580	252	298	
30 年	775	547	17	13	483	279	275	255	
31 年	747	436	12	12	488	186	247	238	58.0
32 年	732	483	14	14	463	240	255	233	66.0



金 沢 消 防 署

金沢に初めて官設消防が設けられたのは、久良岐郡六浦荘村が横浜市に編入された昭和11年10月1日で、当時寺前町59番地に仮庁舎を置き、事務開始をしたが昭和13年4月15日に現在の洲崎出張所庁舎が新設され、これに移転した、その後区勢の発展とともに昭和20年12月7日谷津出張所が昭和21年7月5日六浦出張所がそれぞれ新設された。特に昭和23年3月7日消防組織法の施行に伴って消防制度の改革が行われ今まで県に属していた消防がそのまま各市町村に移管され、新たに横浜市消防として発足し更に昭和27年10月1日磯子消防署の管下にあつた当区の消防は磯子から分離し本署を洲崎町におき、谷津、六浦出張所を加えて金沢消防署が誕生し、昭和30年7月25日谷津町に新庁舎が落成するに及んで本署がこれに移転すると同時に谷津出張所を閉鎖し洲崎、六浦出張所とともに現在に至っている。

火 災 発 生 状 況

年 別	月 別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備 考
31年	件数	28	1	6	4	2	2		1	2	1	1	2	6	消 防 車 延 出 場 数 181輛
	損害 円	14,733,587	100	2,420	23,200	3,500	10,863,070		15,000	100	50	100	35,100	3,530,937	
32年	件数	53	3	7	10	3	4		5	2	3	4	8	4	消 防 車 延 出 場 数 267輛
	損害 円	4,607,307	1,361,512	2,175,391	199,300	385,310	929,000		5,720	1,550	560	9,665	9,280	2,500	

原 因 別

年 別	区 別	計	石油 コンロ	煙 草	煙 突	ガ ソ リ ン (含 車 両)	竈	こ た つ	こ ん ろ	コ ー ル タ ー ル	焚 火	弄 火	シ ヨ リ ト	火 粉	危 険 物 (工 場)	放 火 (含 疑)	そ の 他
31年		28	5	2	1	3	2		2	1	1	1	1		4	4	1
32年		53	5	7	4	3	2	3		2	2	6	3	2		5	9

年 別

年 別	区 分	件 数	焼 失 坪 数 (除 林 野)	損 害 額 円	備 考	林 野 焼 坪 数
27年		17	1,592.0	20,244,820		
28年		23	19.3	315,360	( 230 坪)	
29年		14	115.1	2,235,120		
30年		31	218.5	2,270,050	(1,500 坪)	
31年		28	826.7	14,733,587	(2,600 坪)	
32年		53	157.1	4,607,307	( 55 坪)	

救 急 車 出 場 状 況

年 度 別	事 故 別	計	交 通 事 故	傷 害 事 故	自 殺 行 為	急 病 人	火 災 現 場
31年		528 件	71	81	31	336	10
32年		612 件	105	77	32	374	24

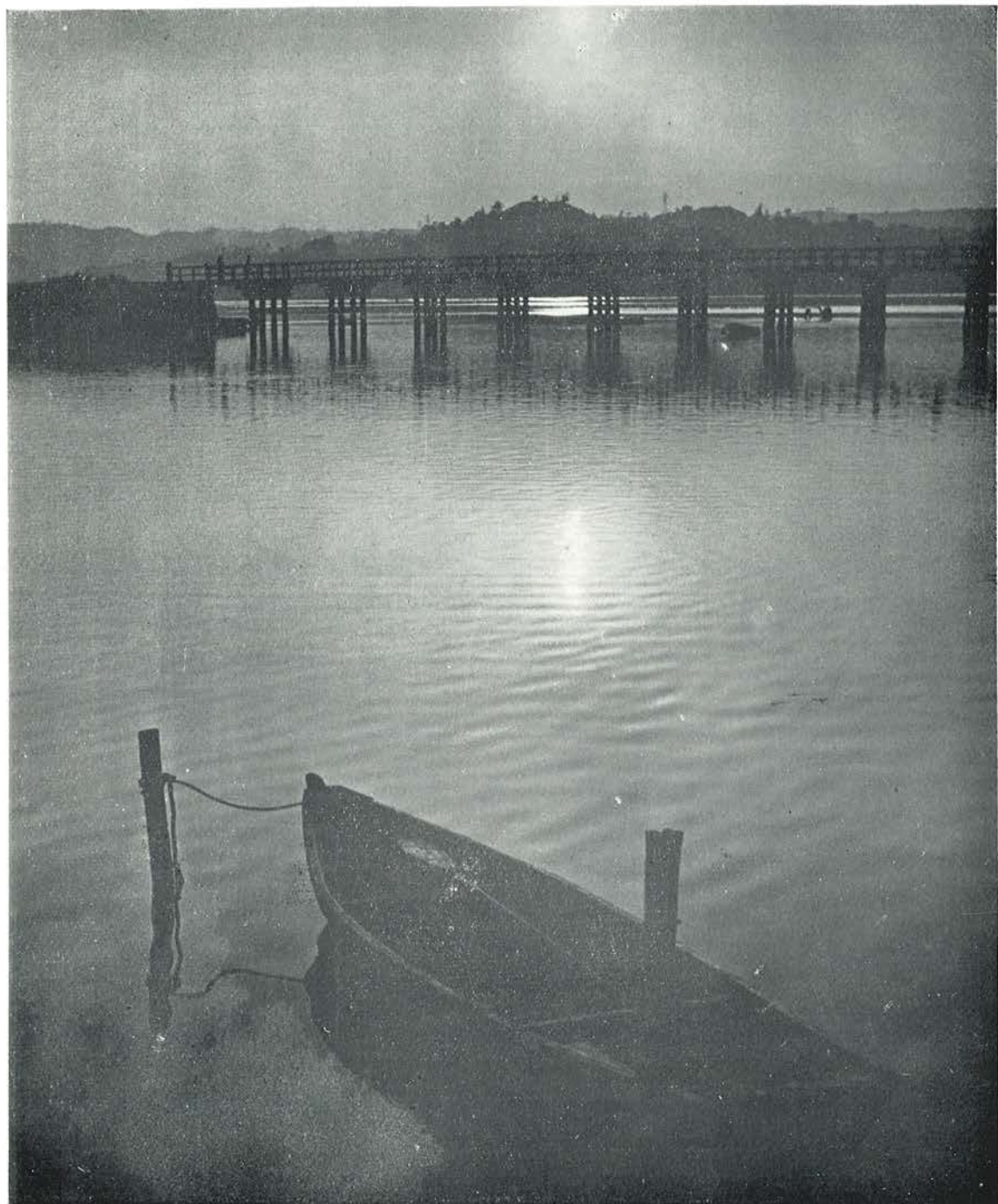
消 防 団 人 員 及 び 機 械 器 具 の 配 置 状 況

分 団 名	計	団 本 部	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団	第 7 分 団	第 8 分 団	備 考
分 団 別 定 員	488	10	65	60	43	44	60	70	75	61	
消 防 機 具 の 状 況	21		2	2	2	1	2	2	6	4	消 防 車, 三 輪 車, 手 挽 可 搬 式 を いう。

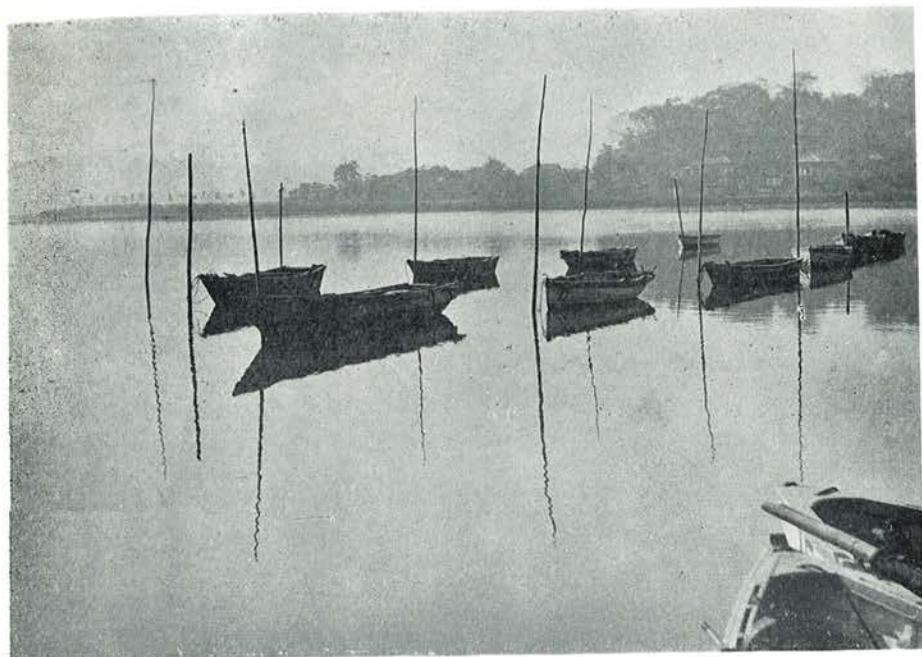
# 団 体

## 金 沢 区 各 種 団 体 一 覧

団 体 名	代 表 者 氏 名	内 容
金沢振興開発協議会	小 沢 二 郎	区内の開発と産業の振興を図る
金沢区商店連合会	小 泉 洪 基	商店街の振興発展を図る
金沢区瓦斯促進協議会	米 元 完 二	瓦斯引込の完遂を促進する
金沢区選挙管理委員会	長 島 藤 吉	各種選挙の管理執行事務
金沢観光協会	小 沢 二 郎	観光施設の整備開発宣伝紹介
金沢社会福祉協議会	一 之 瀬 徳 太 郎	社会福祉活動の推進機関として調査研究事務計画実施
金沢区遺族会	加 藤 太 市 郎	区内戦傷病没遺族の補償厚生活動推進
金沢みのり会	小 坂 幾 代	未亡人、母子家庭の福祉活動
区赤十字奉仕団	新 井 助 太 郎	各種災害官公署協力賛助機関
金沢婦人団体連絡会	松 本 フ ジ	区内婦人団体の連絡機関として婦人の教養生活改善普及
金沢区民生委員協議会	一 之 瀬 徳 太 郎	区内民生委員連絡機関として調査研究を図る
金沢区体育協会	青 木 巽	区民体育の振興の施設活動
金沢区体育指導委員連絡会	新 井 助 太 郎	体育指導委員健民委員の連絡機関
未帰還者留守家族会区支部	加 藤 太 市 郎	未帰還者留守家族福利厚生事業
区広報委員長連絡会	青 木 巽	各地区広報委員長の連絡研究機関
金沢区視聴覚教育委員会	森 下 一 男	視聴覚活動の推進研究連絡機関
金沢区民生委員推せん委員会	小 沢 二 郎	民生委員推せん機関
共同募金金沢区支会	青 木 巽	共同募金運動の実施受配施設の調査
国連協会金沢区分会	新 井 助 太 郎	国連協会員募集啓蒙宣伝活動
金沢区赤十字運動推進委員会	新 井 助 太 郎	赤十字社員の募集社業推進活動の協力
金沢区防犯協会連合会	高 橋 保 之	区内の防犯活動青少年補導育成運動
金沢区農業委員会	鹿 島 源 左 衛 門	農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図る
金沢漁業協同組合	田 丸 定 吉	漁業生産力の発展及び漁業経営の合理化を図る
紫漁業協同組合	斎 田 平 寿	〃
富岡漁業協同組合	鹿 島 源 左 衛 門	〃



野島の夕照



平湯湾

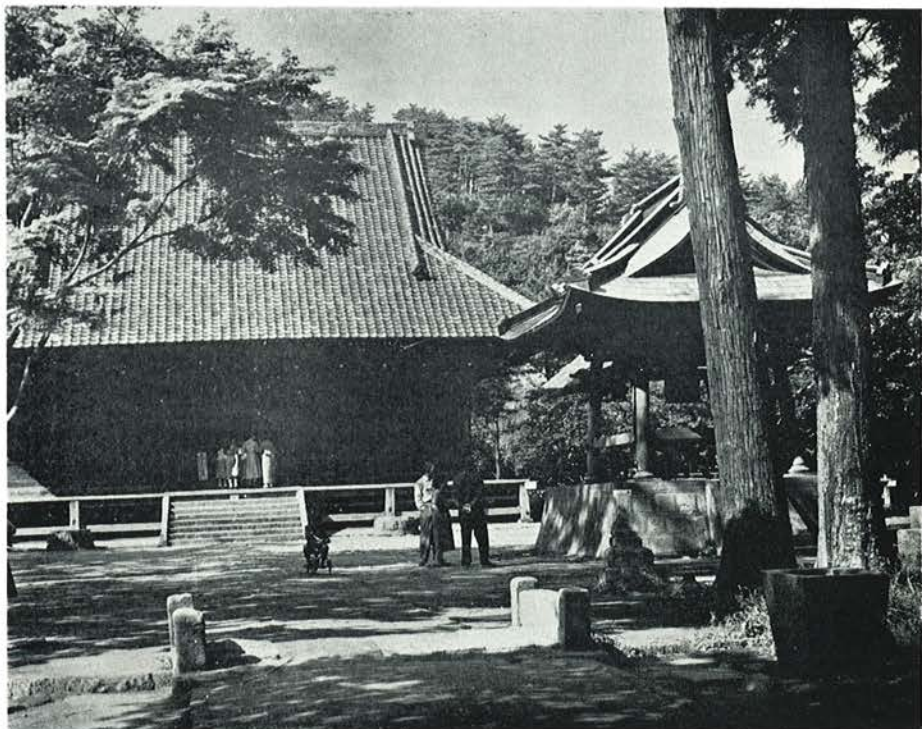


乙船の干湯



金沢山の展望

称名寺





恒例の花火大会



乙船の海水浴場



## あ と が き

区制施行10周年を祝して記念事業の一端として区勢概要を刊行いたしました。

区制の沿革や各項目には関係写真統計図表などを各編の冒頭にとり入れ主要な数字及び統計調査を収録しましたが、何分にも限られた紙数と短時日の枠内に仕上げた結果内容はすべて概要を知る程度に止めざるを得ませんでした。従つて不備な点精粗な点多々ありますが何卒御容赦願います。本書刊行にあたり多くの貴重な資料を快よく提供下されました関係諸機関の御好意に対して深く謝意を表する次第であります。

---

昭和33年 5月10日印刷

昭和33年 5月15日発行

発行所 横浜市金沢区役所

編集 金沢区役所戸籍統計課

発行人 吉川 憲治

横浜市南区白妙町2-7

印刷所 杉本紙器印刷株式会社

